

第1版

茅ヶ崎方式  
国際英語教本  
文 法

茅ヶ崎方式英語会 編



## はじめに

英語に限らず、言語は「語彙」と「語法」によって成り立っています。「語法」の中核は文法です。茅ヶ崎方式英語学習法では、基本語彙を4,000語と定めており、これらの語彙をどのように配列すれば英語として文意を正確に伝えられるかを解説・説明したのがこの文法書です。

したがって、この文法書の用例は、原則として基本4,000語で書かれており、説明文の中にはBOOK-1～4から引用したものもあります。それによって、学習者の語彙についての負担を軽減し、他の教本の用例との相乗効果をはかるようになっています。また、教本の用例を語法（文法事項）の面から解きあかし、身につけてもらうように作成してあります。

学習者は、BOOK-1, BOOK-2を学ぼうちに、学校で教わった英文法を思い出すとともに、多数の用例から、無意識のうちに、帰納的に英文の規則に少しずつ慣れていくはずですが、この文法書を学ぶことによって、無意識、帰納的に身につけてきた知識を、意識的、演繹的に整理して、語法を身につけるのに役立ちます。

したがって、この文法書による体系的な学習は、茅ヶ崎方式英語学習法に慣れた頃に始めるとよいでしょう。それまでの間は、調べたいと思った文法事項について、本書の該当する項目を見て、その部分に印をつけておく程度の学習にしておいてください。そして、BOOK-3, BOOK-4でやや複雑な英文を学習しながら、この文法書を使って、文法事項ごとに演繹的に理解する学習をするとよいでしょう。その際、BOOK-3, BOOK-4の巻末に付しである「文法事項・慣用語法用例リスト」を合わせて利用すれば、一層効果が上がるはずです。

2017年4月

著者・作成協力者一同

## contents

## 茅ヶ崎方式 国際英語教本 文法 目次

この文法書の構成と使い方 ..... 8

## ... UNIT 1 ..... 10

## Sentence Patterns (文型)

第1文型 .....	12
第2文型 .....	13
第3文型.....	15
第4文型.....	16
第5文型.....	18

&lt;練習問題&gt; ..... 22

## ... UNIT 2 ..... 24

## Phrases and Clauses (句と節)

§I 句.....	24
1. 名詞句 .....	25
2. 形容詞句 .....	25
3. 副詞句 .....	26
§II 節.....	28
1. 名詞節 .....	29
2. 形容詞節 .....	29
3. 副詞節 .....	30

&lt;練習問題&gt; ..... 32

## ... UNIT 3 ..... 34

## Prepositions (前置詞)

§I 前置詞の用法.....	34
1. 時を表す前置詞 .....	35
2. 場所を表す前置詞 .....	36
3. その他のよく使う前置詞 .....	38
§II 9つの前置詞 .....	40
§III 群前置詞 .....	48

&lt;練習問題&gt; ..... 50

## ... UNIT 4 ..... 52

## Conjunctions (接続詞)

§I 対等(等位)接続詞 .....	52
§II 名詞節を導く従属(従位)接続詞 .....	57
§III 副詞節を導く従属(従位)接続詞 (時、目的、原因を表す) .....	61
1. 時を表す接続詞 .....	62
2. 目的を表す接続詞 .....	63
3. 原因を表す接続詞 .....	64
§IV 副詞節を導く従属(従位)接続詞 (結果、条件、様態、譲歩を表す) .....	66
1. 結果を表す接続詞 .....	67
2. 条件を表す接続詞 .....	67
3. 様態・制限を表す接続詞 .....	68
4. 譲歩を表す接続詞 .....	69

&lt;練習問題&gt; ..... 72

## ... UNIT 5 ..... 74

## Relative Pronouns (関係代名詞)

§I 主格・所有格・目的格.....	74
§II 制限用法と連続用法.....	79
1. 制限用法.....	80
2. 連続用法.....	80
§III 関係代名詞 that・関係代名詞 what・ 前置詞+関係代名詞.....	83
1. 関係代名詞 that が よく用いられる場合.....	84
2. 先行詞を含む関係代名詞 what .....	85
3. 前置詞+関係代名詞.....	86
4. 不定代名詞・数詞+ of +目的格の 関係代名詞 .....	87
5. 疑似関係代名詞 .....	88

&lt;練習問題&gt; ..... 90

... UNIT 6 ..... 92

**Relative Adverbs (関係副詞)**

§ I 関係副詞の働きと種類 ..... 92

1. 関係副詞の働き ..... 93
2. 関係副詞の種類 ..... 94

§ II 連続用法 ..... 98

<練習問題> ..... 101

... UNIT 7 ..... 104

**Omission of Relatives and Compound Relatives**

(関係詞省略・複合関係詞)

§ I 関係詞省略 ..... 104

1. 目的格の関係代名詞の省略 ..... 105
2. 関係代名詞の  
「主格 + be 動詞」の省略 ..... 105
3. 関係副詞の省略 ..... 106

§ II 複合関係詞 ..... 108

1. 複合関係代名詞 ..... 109
2. 複合関係副詞 ..... 110

<練習問題> ..... 112

... UNIT 8 ..... 114

**Tense (時制)**

§ I 現在・過去・未来形 ..... 114

1. 現在形 ..... 115
2. 過去形 ..... 116
3. 未来形 ..... 117

§ II 進行形 ..... 120

1. 現在進行形 ..... 121
2. 過去進行形 ..... 121
3. 未来進行形 ..... 121

§ III 完了形 ..... 123

1. 現在完了形 ..... 124

2. 現在完了進行形 ..... 127

3. 過去完了形・未来完了形 ..... 128

<練習問題> ..... 130

... UNIT 9 ..... 132

**Sequence of Tenses (時制の一致)**

§ I 時制の一致の原則 ..... 132

1. 主節の動詞が現在形の場合 ..... 133
2. 主節の動詞が過去形の場合 ..... 133

§ II 時制の一致の例外 ..... 135

§ III 時制の一致と話法 ..... 138

<練習問題> ..... 144

... UNIT 10 ..... 146

**Passive Voice (受動態)**

§ I 能動態と受動態・by の省略 ..... 146

1. 能動態と受動態 ..... 147
2. by 以下の省略 ..... 147

§ II 進行形・完了形・助動詞を含む受動態 ..... 148

1. 進行形の受動態 ..... 149
2. 完了形の受動態 ..... 149
3. 助動詞を含む受動態 ..... 149
4. 疑問文の受動態 ..... 150

§ III 第4文型・第5文型・動作・状態の受動態 ..... 152

1. 第4文型の受動態 ..... 153
2. 第5文型の受動態 ..... 154
3. 動作の受動態・状態の受動態 ..... 156

§ IV by ~以外の前置詞が用いられる受動態  
① 感情・心理を表す受動態 ..... 158

§ V by ~以外の前置詞が用いられる受動態  
② その他 ..... 159

<練習問題> ..... 162

## ... UNIT 11 ..... 164

### Subjunctive Mood (仮定法)

§ I if を使った仮定法 .....	164
1. 仮定法過去 .....	165
2. 仮定法過去完了 .....	165
3. 可能性の低い未来の予想 .....	166
§ II if がない仮定法 .....	168
1. if を使わない仮定法 .....	168
2. if が省略される仮定法 .....	170
§ III 仮定法を使った重要構文 .....	171
<練習問題> .....	176

## ... UNIT 12 ..... 178

### Infinitives (不定詞) No.1

§ I 名詞的用法 .....	179
§ II 形容詞的用法 .....	182
§ III 副詞的用法 .....	185
§ IV S+V+O+ 不定詞 .....	188
<練習問題> .....	190

## ... UNIT 13 ..... 192

### Infinitives (不定詞) No.2

§ I 疑問詞 + to 不定詞 .....	192
§ II 原形不定詞 .....	194
§ III 形式主語、形式目的語の it .....	197
1. 形式主語の it .....	198
2. 形式目的語の it .....	198
3. 不定詞の意味上の主語 .....	199
§ IV その他の不定詞 .....	201
1. be 動詞 + 不定詞 .....	201
2. 不定詞の完了形と受動態 .....	201
3. 不定詞を用いた慣用表現 .....	203
<練習問題> .....	206

## ... UNIT 14 ..... 208

### Participles (分詞)

§ I 形容詞的用法 .....	208
§ II 補語としての分詞 .....	212
§ III 分詞構文 .....	215
1. 分詞構文の意味 .....	216
2. 否定の分詞構文 .....	218
§ IV 受動態・完了形・独立分詞構文 .....	219
1. 受動態の分詞構文 .....	219
2. 完了形の分詞構文 .....	219
3. 独立分詞構文 .....	220
§ V 分詞を用いた慣用表現 .....	222
<練習問題> .....	223

## ... UNIT 15 ..... 226

### Gerunds (動名詞)

§ I 動名詞の 名詞的性質と動詞的性質 .....	226
1. 名詞的性質 .....	227
2. 動詞的性質 .....	227
§ II 動名詞の意味上の主語、 時制、態、否定 .....	228
1. 動名詞の意味上の主語 .....	229
2. 動名詞の時制 .....	230
3. 動名詞の受動態 .....	230
4. 動名詞の否定 .....	231
§ III 動名詞と 不定詞、現在分詞、慣用表現 .....	232
1. 動名詞と不定詞 .....	232
2. 動名詞と現在分詞 .....	234
3. 動名詞を用いた慣用表現 .....	234
<練習問題> .....	236

## ... UNIT 16 ..... 238

**Auxiliary Verbs (助動詞)**

§ I can, may, must, will ..... 238

§ II could, might, would, should 243

§ III need, ought to, 慣用表現 ..... 247

&lt;練習問題&gt; ..... 250

## ... UNIT 17 ..... 252

**Comparison (比較)**

§ I 原級 ..... 252

§ II 比較級 ..... 256

§ III 最上級 ..... 260

&lt;練習問題&gt; ..... 268

## ... UNIT 18 ..... 270

**Special Constructions (特殊構文) No.1**

§ I 倒置構文 ..... 270

1. 副詞句が文頭にくる倒置 ..... 271

2. 補語・目的語が文頭にくる倒置 273

3. 慣用的な倒置 ..... 274

§ II 強調構文 ..... 275

1. 「It is ~ that...」で表す強調構文 276

2. 特定の語句をつけ加えた強調 .... 276

&lt;練習問題&gt; ..... 278

## ... UNIT 19 ..... 280

**Special Constructions (特殊構文) No.2**

§ I 否定構文 - ① 否定語 not ..... 280

§ II 否定構文 - ② 否定語 not 以外 .. 282

&lt;練習問題&gt; ..... 290

## ... UNIT 20 ..... 292

**Nouns and Definite / Indefinite Articles (名詞・冠詞)**

§ I 名詞 ..... 292

1. 名詞の種類 ..... 293

2. 名詞の特徴 ..... 293

§ II 冠詞 ..... 299

1. 不定冠詞 (a, an) ..... 300

2. 定冠詞 (the) ..... 301

3. the + 固有名詞 ..... 302

&lt;練習問題&gt; ..... 306

文法用語 索引 ..... 308

## 「茅ヶ崎方式 国際英語教本 文法」の構成と使い方

1. Unit-1 ～ 20 の各ユニットは、文法の項目ごとにいくつかのセクションに分けられている。
2. セクションごとに、四角で囲まれた「基本文」があり、その項目の基本的ないくつかの用例が書かれている。文法事項は「赤字」もしくは「斜体字」「下線」などで示され、暗唱できるように出来るだけ短い文で書かれている。
3. 各「基本文」の下には、項目の大まかな意味と使い方が簡単に示されている。ここまでで、項目の基本的な意味と使い方が理解できる。
4. 項目のさらに詳しい意味と使い方は、その後に体系的に述べられている。
5. 茅ヶ崎方式英語教本 Book-1, 2, 3, 4 との関連を持たせるため、
  - ① 文法事項の順序・用語は Book-1 に準拠している。  
(Book-1 にない文型や助動詞その他を追加してある)
  - ② 各教本から引用した用例は、用例の後に (B2-5-7) のように示されている。  
(Book-2 の Unit-5 の用例 7 という意味)
  - ③ 用例は原則として「国際英語基本 4000 語」で書かれている。
6. 茅ヶ崎方式英語によく見られる、放送英語やニュース英語に出てくる独特の文法は「ニュース英語では」と表示し、説明と用例を加えてある。
7. 各セクションの終わりに <Exercise> と<解答>を付け、さらに文法事項の復習ができるように<チェック項目>を付けてある。
8. 各ユニットの終わりには<練習問題>があり、C1 レベルから C3 レベルの学習者に应用できるように、A, B, C の問題は、やさしい問題から難しい問題へとなっている。





# English Grammar

## 20 UNITS



# UNIT 1

## Sentence Patterns (文型)

文は主語 (Subject)、動詞 (Verb)、目的語 (Object)、補語 (Complement) の4つの要素の組み合わせにより、5つの文型に分類される

(see Book0後編-p.31, Book1-p.28~31, -p.108~111, Book3-p.166, Book4-p.193, Book5-p.30)

基本文1 The Second World War **ended** on August 15th in 1945.

(第2次世界大戦は1945年8月15日に終わった)

基本文2 Japan **has become** a democratic country.

(日本は民主主義国家となった)

基本文3 Japan **has followed** the path of a peaceful country.

(日本は平和国家の道を進ってきた)

基本文4 The Constitution of Japan **should bring** us peace.

(日本国憲法は私たちに平和をもたらすはずだ)

基本文5 Atomic bombs **made** Hiroshima and Nagasaki ruins.

(原爆は広島と長崎を廃墟とした)

枠内の基本文と日本語の訳文を対応させると以下ようになる。

1. The Second World War / **ended** / on August 15th in 1945.

第2次世界大戦は / 終わった / 1945年8月15日に

2. Japan / **has become** / a democratic country.

日本は / なった / 民主主義国家と

3. Japan / **has followed** / the path of a peaceful country.

日本は / 進ってきた / 平和国家の道を

4. The Constitution of Japan / **should bring** / us / peace.

日本国憲法は / もたらすはずだ / 私たちに / 平和を

5. Atomic bombs / **made** / Hiroshima and Nagasaki / ruins.

原爆は / した / 広島と長崎を / 廃墟と

### ■このセクションで学ぶこと

英語と日本語の語順で大きく違っているところは何だろうか？例えば、日本語では、「あなたは英語を学ぶ」でも、「英語を学ばあなたは」でも、「学ぶあなたは英語を」でも、同じ内容を伝えられる。日本語には、助詞（て、に、を、は）があるので、主語、述語、その他の語の並び方が異なっても同じ内容を伝えることができるのである。しかし、英語では**主語＋述語動詞**（～は…する）が文の中心となり、「あなたは英語を学ぶ」という意味では You learn English. の並びを変えることはできない。you と English を逆の位置にすると、English learn you. となり、英語があなたを学ぶという奇異な文になってしまう。ここでは英文の中心となる**主語＋述語動詞**および文を構成する要素と文型について学んでいこう。

## ◆ 文の要素と文型

### ■ 5つの文型

文は、主語 (S=subject) + 述語動詞 (V=verb) が中心となり、5種類の述語動詞によって、右の5つの文型に分類される。

第1文型	S + V	(完全自動詞)
第2文型	S + V	(不完全自動詞) + C
第3文型	S + V	(他動詞) + O (目的語が1つ)
第4文型	S + V	(他動詞) + O + O (目的語が2つ)
第5文型	S + V	(不完全他動詞) + O + C

### ■ 文の要素

主語、動詞 (述語動詞)、目的語 (O=object)、補語 (C=complement) を文の主要素という。

**主語 (S)** は、動作の主となる語で、「～は、～が」にあたる。名詞、代名詞、名詞句、名詞節などが主語となる。

**動詞 (V)** は、主語の動作 (～する) や状態 (～である) を表す。述語動詞は、単独で用いられるほか、助動詞を伴う場合もある。

動詞には、目的語を必要とする**他動詞 (transitive verb, vt)** と、必要としない**自動詞 (intransitive verb, vi)** がある。

**目的語 (O)** は、動詞の後に置かれて「～に、～を」にあたる語である。名詞、代名詞、名詞句、名詞節などが目的語となる。

**補語 (C)** は、主語や目的語の動作や状態を表す語である。名詞、代名詞、形容詞およびそれらと同じ働きをするものが補語となる。

また、文は主要素に修飾語句 (副詞、句、節) を伴うことが多い。修飾語句は文の内容をより正確に伝えるための働きをする。

基本文の文の要素 (S. V. O. C) を示すと次のようになる。

1. The Second World War / ended / on August 15th in 1945.  
S V 副詞句
2. Japan / has become / a democratic country.  
S V C
3. Japan / has followed / the path of a peaceful country.  
S V O
4. The Constitution of Japan / should bring / us / peace.  
S V O O
5. Atomic bombs / made / Hiroshima and Nagasaki / ruins.  
S V O C

## ◆ 第1文型

### 第1文型 = S + V 「Sは～する」

この文型に用いられる動詞は、**完全自動詞** (complete intransitive verb) といい、目的語も補語も必要としない。

次の(A)と(B)の文を比較してみよう。S + V (文の主要素) のみの文(A)と、S + V 以外が加わった文(B)を比べて、つけ足された部分には、どのようなものがあり、文の中でそれらがどんな役割をしているかを考える。

(A) The war **ended**. (戦争は終わった)

(B) The war **ended** on August 15th in 1945. 基本文1  
(戦争は1945年8月15日に終わった)

(A) Japanese people **worked**. (日本人は働いた)

(B) Japanese people **worked** hard to help rebuild their country.  
(日本人は自国を復興するために懸命に働いた)

(A)の文のようにS + Vのみで使われることは少なく、たいていの文は(B)のように修飾語句を伴っている。(B)の文の修飾語句である on August 15th in 1945 (副詞句) や hard (副詞) や、to help rebuild their country (副詞句) は、文の内容をより明確に表現する。

Queen Himiko once **lived** in Yamatai-koku.  
(昔、女王卑弥呼が邪馬台国に住んでいた)

The Kingdom of Tonga **lies** in the South Pacific. (B1-23-13)  
(トンガという王国は南太平洋にある)

完全自動詞ではあるが、live, lie などは場所を示す副詞(句)が必要である。in Yamatai-koku, in the South Pacific がないと文として意味が成り立たない。これらは〈S + V + 副詞(句)〉として第1文型に分類される。

## EXERCISE

次の斜体字の動詞に注意して日本文に訳せ。

1. The Chinese economy has been rapidly **growing**.
2. The town in Hokkaido has **grown** wine grapes.
3. Flat-screen televisions are **selling** well in Akihabara.
4. The Harry Potter series has **sold** hundreds of millions of copies around the world.

### < 解答 >

1. 中国経済は急速に**発展**してきた (自動詞)
2. 北海道のその町はワイン用のブドウを**栽培**した (他動詞)
3. 薄型テレビが秋葉原でよく**売**れている (自動詞)
4. ハリーポッターシリーズは世界中で何億万部も**売**れた (他動詞)

### Exercise 解説

多くの動詞は自動詞と他動詞の両方に用いられる。grow は自動詞の場合は「育つ、成長する」という意味に、他動詞の場合は「～を栽培する」という意味になり、sell は他動詞の場合は「～を売る」、自動詞の場合は「売れている」という意味になる。

## ◆ 第2文型

## 第2文型 = S + V + C 「Sは～である」「Sは～になる」

この文型に用いられる動詞は、**不完全自動詞 (incomplete intransitive verb)** といい、主語と動詞だけでは意味が完結せず補語を必要とする動詞である。不完全自動詞には以下のようなものがある。

## (1) 「～である」を表す動詞

be (～である), keep, remain (～のままである) など

Japan **was** a military power until the end of the war.

(日本は戦争の終結まで軍事大国だった) (B1-2-13)

a military power がないと「日本はだった」となり、何であったのかがわからないので文が完結しない。主語の Japan を説明する **主格補語**が必要である。

The truth **remains** unknown about the assassination of US President John F. Kennedy. (B2-5-5)

(アメリカのケネディ大統領暗殺は、その真相はなおわかっていない)

## ◆ There 構文

There 構文 = There + be 動詞 + 主語  
「～がある、～がいる」

「There + be 動詞 + 主語」という形で、聞き手がまだ知らないもの（特定されていないもの）の存在を伝える。～がある、～がいる、という意味になる。この構文の there にはそこという意味はなく、弱く発音される。この構文の主要素は「動詞 + 主語」で第1文型に入る。

**There is** a no parking sign on the corner.  
(その角に駐車禁止の標識がある)

**There were** many foreign tourists in the temple.  
(その寺には多くの外国人観光客がいた)

「There + be 動詞 + 主語 + to 不定詞 / 分詞」

**There may be** a chance **to resume** cease-fire talks with the country.  
(その国との停戦会談を再開する機会があるかもしれない)

**There are** opportunities at hand for a new dialogue **to make** the world a safer place.  
(新しい対話が世界をより安全な場所にする機会が間近にある)

**Is there** anyone **visiting** the radioactively-contaminated area?  
(放射能で汚染された地区を訪れる人はいますか)

## EXERCISE 正しい文に○をつけよ。

1. There is the coffee shop around the corner.
2. In Nara, there is the oldest wooden building in the world.
3. There is the police officer I asked the way to the library yesterday.

## &lt;解答&gt;

1. × (角を曲がったところに喫茶店がある)
2. ○ (奈良には世界最古の木造建築がある)
3. ○ (昨日私が道を尋ねた警察官がそこにいる)

## Exercise 解説

1. There 構文は聞き手に新情報を提示する文で、there の後には既に知っている特定された名詞はこない。不定冠詞、または複数形の名詞がくることが普通である。正しくは There is a coffee shop around the corner. あるいは The coffee shop is around the corner. である。

2 この場合の定冠詞 the は、既知のものを示す定冠詞ではなく、最上級の形容詞に付される定冠詞である。

3 この場合の there は「そこ」という場所を示す副詞であり、there は強く発音される。

## (2) 「～になる」を表す動詞

become , get , grow , turn (～になる) など

Japan **has become** a democratic country. 基本文 2

(日本は民主主義国家となった)

In my belief, more than three fourths of the nation **has** already **become** interested in the Internet. (B1-32-9)

(私の信ずるところでは、既に、国民の4分の3以上がインターネットに興味をもつようになった)

Many people **got** angry at the news that the Prime Minister suddenly resigned.

(多くの国民は首相が突然辞任したというニュースに怒った)

## (3) 「～に見える」を表す動詞

look , seem , appear (～に見える) など

Kobe citizens **looked** sad as they watched their quake-stricken houses. (B1-17-12)

(神戸の市民たちは地震で被害を受けた家を見たとき悲しげだった)

The marathon runner seemed satisfied to finish third in the Olympics. (B1-15-3)

(そのマラソンランナーはオリンピックで3位に入って満足そうに見えた)

## (4) 「～とを感じる」を表す動詞

feel (～の感じがする) ,                      smell (～のにおいがする) ,  
sound (～のように聞こえる) ,              taste (～の味がする) など

The beer the company has produced tastes fairly bitter. (B1-10-2)

(その会社が生産したビールはかなり苦い味がする)

We **felt** ashamed to hear the news that a few Japanese students put graffiti on cultural assets in Italy.

(私たちは2～3人の日本の学生がイタリアの文化財に落書きをしたというニュースを聞いて恥ずかしく感じた)

## EXERCISE

次の斜体字の動詞に注意して日本語に訳せ。

1. They **kept** quiet during the ceremony.
2. He **kept** the document in a safe place.
3. The ferry **turned** upside down in a rough sea. (B1-28-19)
4. Leaves on ginkgo trees **have turned** yellow.

### < 解答 >

1. 彼らはその式典の間静かにしていた  
(第2文型 S+V+C)
2. 彼はその書類を安全な場所に保管した  
(第3文型 S+V+O)
3. そのフェリーボートは荒波で転覆した  
(第1文型 S+V)
4. 銀杏の葉が色づいてきた (第2文型 S+V+C)

### Exercise 解説

1の文では意味の上で They=quiet の関係がほぼ成り立つ。be 動詞を使った第2文型の They were quiet. と同じような内容になる。

しかし2の文では He≠the document であり、the document は補語ではなく keep の目的語なので、第3文型である。

3の文の turn は自動詞で副詞 upside down を伴って「転覆する」の意味になり、4の文の turn は形容詞 yellow が主格補語となって黄色「になる」という意味になる。

## ◆ 第3文型

## 第3文型 = S + V + O 「Sは…を～する」

この文型に用いられる動詞は、**完全他動詞 (complete transitive verb)** といい、補語を必要としない他動詞である。目的語になるのは、主に名詞、代名詞であるが、それらに相当する語、句、節などの場合も多い。

Japan **has followed** the path of a peaceful country. (基本文3)

(日本は平和国家の道を辿ってきた) (名詞)

Many people **respect** the spirit of the pacifist Constitution.

(多くの人は平和憲法の精神を尊重している) (名詞)

Many companies **have considered** adopting payment based on workers' performance. (B1-38-T)

(多くの会社は従業員の仕事の成果に基づく給与制度を採用することを考えた) (動名詞)

He said that he had made efforts to promote a reform.

(彼は改革を推進するために努力をしたと言った) (名詞節)

The people don't know well what the reform was.

(国民はその改革が何であったかよくわかっていない) (名詞節)

## EXERCISE

次の単語を並べ替え、動詞を適切な形にして英文を完成させよ。但し、不要な語がある場合もある。

1. ( the matter, about, discuss )

We \_\_\_\_\_.  
(私たちはその問題について話し合った)

2. ( the schedule for, explain, the school trip, about )

Teachers \_\_\_\_\_.  
(先生たちは修学旅行の日程について説明した)

3. ( with, junior to her, marry, 20 years, a man )

The actress \_\_\_\_\_.  
(その女優は彼女より 20 歳も年下の男性と結婚した)

## &lt; 解答 &gt;

1. We discussed the matter. ~~about~~
2. Teachers explained the schedule for the school trip. ~~about~~
3. The actress married a man 20 years junior to her. ~~with~~

## Exercise 解説

discuss, explain, marry は完全他動詞だから動詞の後にすぐに目的語がくるので、前置詞 about は不要である。日本語の「～と、～について」の言葉に前置詞をあてはめてしまいがちなので、注意しよう。



## ◆ 第4文型

### 第4文型 = S + V + IO + DO 「SはIOにDOを～する」

この文型に用いられる動詞も、**完全他動詞 (complete transitive verb)** (授与動詞ともいう) であり、2つの目的語をとる。～に (人に) にあたる目的語を**間接目的語 (IO = Indirect Object)**、～を (ものを) にあたる目的語を**直接目的語 (DO = Direct Object)** という。以下のように **give** 型の動詞と **buy** 型の動詞に、大きく分けられる。

#### (1) **give** 型 間接目的語を後ろにもってくと、前置詞 to をとる

give (与える),	lend (貸す),	send (送る),	show (見せる),
teach (教える),	tell (話す),	hand (手渡す),	pass (手渡す),
offer (提供する),	pay (支払う),	sell (売る)	など

The Constitution of Japan / should **bring** / us / peace. (S V IO DO) **基本文4**  
(日本国憲法は私たちに平和をもたらすはずだ)

The Internet / **gives** / them / a lot of information. (S V IO DO)  
(インターネットは彼らに多くの情報を与える)

The Internet / **gives** / a lot of information / **to** them. (S V O)  
(インターネットは多くの情報を彼らに与える)

\* **give** 型の動詞は、第3文型 (SVO) にする時は間接目的語の前に前置詞 **to** (～に対して) を用いる。(to は到達点を表す)

◎ The Internet gives it to them. (S V O)

× The Internet gives them it.

IO が代名詞の場合は目的語を2つ並べずに、第3文型にする。

Japan / **sent** / the country / emergency goods. (S V IO DO)  
(日本はその国に緊急物資を送った)

Japan / **sent** / emergency goods / **to** the country. (S V O)  
(日本は緊急物資をその国に送った)



## (2) buy 型 間接目的語を後ろにもってくると、前置詞 for をとる。

buy (買ってあげる), make (作ってあげる), choose (選んであげる),  
find (見つけてあげる), get (手に入れてあげる), leave (残してあげる),  
cook (料理してあげる), sing (歌ってあげる), play (演奏してあげる) など

They **bought** their children cellphones to keep them safe. (S V IO DO)  
(彼らは自分の子供に身の安全を保つため携帯電話を買った)

= They **bought** cellphones **for** their children to keep them safe. (S V O)  
(彼らは携帯電話を自分の子供に身の安全を保つために買った)

\* buy 型の動詞は、第3文型 (SVO) にする時は間接目的語の前に前置詞 for (～のために) を用いる。(前置詞 for は利益、恩恵を表す)

## (3) 目的語の順序を変えられない動詞があるので注意しよう

cost (費用がかかる), take (時間がかかる), save (省く), envy (うらやむ) など

Construction of the hospital **cost** the city some hundred million yen.  
(その病院の建設に市は数億円かかった)

\* これらの動詞は、第3文型に書き換えられない。

× Construction of the hospital **cost** some hundred million yen to (for) the city.

## EXERCISE

次の ( ) に下の単語から適切な語句を選んで入れよ。動詞は適切な形にせよ。

to, leave, sell, for, buy, pay

1. The firm ( ) the politician illegal money.
2. The firm ( ) illegal money ( ) the politician.
3. The bank president ( ) a note ( ) his family on the desk.
4. The bank president ( ) a fortune ( ) his family.

## &lt; 解答 &gt;

1. paid      その会社は政治家に違法な金を払った
2. paid, to      その会社は違法な金を政治家に払った
3. left, for      その頭取は机の上に家族あてに遺書を残しておいた
4. left, to      その頭取は家族に多額の遺産を残して死んだ

## Exercise 解説

1, 2 も同じ内容の文であるが、1 では illegal money が、2 では the politician が聞き手にとって新しい情報である。一般に文の後ろの方に新情報が来ることが多い。  
3. leave ~ for ... は「…に～を残しておく」、4. leave ~ to ... は「…に～を残して死ぬ」という意味になる。

## ◆ 第5文型

### 第5文型 = S + V + O + C 「SはOをCにする」 (O=C)

この文型に用いられる動詞は、**不完全他動詞 (incomplete transitive verb)** であり、目的語の後に**目的格補語 (objective complement)**を必要とする。意味の上で O = C の関係がほぼ成り立ち、目的格補語になるのは、主に名詞、形容詞またはそれに相当する語、句、節である。

#### (1) 「O を C にする」

make (～にする) , get (～にする) , keep (～にしておく) ,  
leave (～のままにしておく) , paint (～に塗る) など

Atomic bombs **made** Hiroshima and Nagasaki ruins. (S V O=C)

(原爆はそのとき広島と長崎を廃墟とした) 基本文5

[ Hiroshima and Nagasaki became ruins. ]

They **made** the event a success. (S V O=C)

(彼らはそのイベントを成功させた) [ the event was a success ]

The accident **left** many people **dead**. (S V O=C)

(その事故は多くの死者を出した) [ many people were dead ]

The spread of video game machines **makes** children **lazy**. (S V O=C)

(テレビゲームの普及は子供を怠け者にする) [ children are lazy ]

同じ make を使った次の文はどうだろう。確認してみよう。

She made him one thousand paper cranes. (S V O ≠ C)

(彼女は彼に千羽鶴を作ってあげた)

[ him ≠ one thousand paper cranes ] となって、上の例文は目的語が2つある第4文型 (SVOO) である。

- \* 下の例文は [make + 再帰代名詞 + 過去分詞] で、～されるようにするという慣用的な表現で、第5文型である。

She could not **make herself understood** in English.

(彼女の英語は通じなかった)

- \* 補語に現在分詞、過去分詞がくる例文

(A) She **kept** the engine running.

(彼女はエンジンをかけたままにしておいた)

(B) I **keep** the front door locked.

(私は玄関のドアに鍵をかけておく)

(A) はエンジンがかかっている状態にしておいたことから、the engine was running で、現在分詞 running は能動態の意味になる。それに対して例文 (B) は玄関のドアを鍵をかけられた状態にしておくことから、the front door is locked で、過去分詞 locked は受動態の意味になる。

## (2) 「O を C とする」

call (～と呼ぶ) , name (～と名づける) , declare (～と宣言する) ,  
elect (～に選ぶ) など

We **call** her the Florence Nightingale of Asia.

(私たちは彼女をアジアのナイチンゲールと呼ぶ)

The city **declared** the water unsafe.

(その市は水が安全でないと宣言した)

The people **elected** him **President**.

(国民は彼を大統領に選んだ)

\* 補語になる役職が 1 名に限られている場合は冠詞をつけない。(× the President)

## (3) 「O を C だとする」

believe (～と思う) , think (～と考える) , find (～とわかる) ,  
consider (～とみなす) など

They **found** a boy **alive**.

(彼らは男の子が生きているのを発見した)

He **considered** her support **essential**.

(彼は彼女の支えがなくてはならないと思った)

I **believed** him ( **to be** ) innocent.

(私は彼は無実だと思った)

She found **it** difficult **to meet** their demand.

(彼女は彼らの要求に応じるのは難しいとわかった)

\* 上の例文のように、形式目的語 (it) を使って補語 (difficult) の後に真の目的語である to 不定詞を置く場合がある。(that 節の場合もある)

## (4) 「知覚動詞」

see (見る) , hear (聞く) , feel (感じる) , watch (じっと見る) ,  
observe (観察する) など

Residents **heard** the train **crash** into their condominium.

(住民はその列車がマンションに衝突するのを聞いた)

They **saw** many victims **carried** out of the train on the Fukuchiyama Line.

(彼らは多くの犠牲者が福知山線の列車から運ばれるのを見た)

目的格補語が**現在分詞**の場合は「O が～しているのを…」、**過去分詞**の場合は「O が～されるのを…」という意味になる。

They **saw** a marathon runner **entering** the stadium. (現在分詞)

(彼らはマラソン選手がスタジアムに入ってくるのを見た)

その時入っているところで、まだ入り終わっていない

They **saw** a marathon runner **enter** the stadium. (原形)

(彼らはマラソン選手がスタジアムに入るのを見た)

入り初めてから終わるまでの行為すべて

They **saw** a boy **carried** out of the train. (過去分詞)

(彼らは男の子がその列車から運び出されるのを見た)

## (5)「使役動詞」 ～させる

make , have , get , let

### ① make + O + 動詞の原形 「(無理に) O に～させる」

Global warming **makes** glaciers **melt**.

(地球温暖化が氷河を融かす)

The Prime Minister **made** him **resign** because of a series of scandals.

(首相は一連のスクandalが理由で彼を辞任させた)

### ② have + O + 動詞の原形 「O に～してもらう、～させる」 (使役動詞参照)

He **had** his secretary **copy** a document.

(彼は秘書に文書をコピーしてもらった)

The family of the abductee **had** a crime laboratory **conduct** a DNA analysis of her ashes. (拉致被害者の家族は科学捜査研究所に彼女の遺骨の DNA 鑑定を行ってもらった)

\* get の場合は get + O + to 不定詞で、同じ意味を表す

The family of the abductee **got** a crime laboratory to **conduct** a DNA analysis of her ashes.

### ③ have(get) + O + 過去分詞 「O をさせる、～してもらう」 (使役) 「O を～される」 (受身)

次の例文のように過去分詞を使った場合は使役の意味と、被害などを表す受身の意味の2通りがある。

The office worker **had** his personal computer **repaired**.

(会社員は自分のパソコンを修理させた) (使役)

People using these cards **had** their fingerprints **scanned** at security checks.  
 (このカードを使用する人は指紋をセキュリティー装置で読み取ってもらう) (使役)

The school **had** its windowpanes **broken**.  
 (その学校は窓ガラスを壊された) (受身)

The lawmaker **had** confidential documents **stolen**.  
 (その国会議員は秘密文書を盗まれた) (受身)

④ let + O + 動詞の原形 「O に～させる、を許可する」

She won't **let** her employees **drink and drive**.  
 (彼女は従業員が飲酒運転することを許さないだろう)

If you change your e-mail address, please **let me know** as soon as possible.  
 (もしメールアドレスを変えたなら、できるだけ早く私に知らせて下さい)

EXERCISE

次の英文を日本語に訳せ。

1. The Great Hanshin Earthquake **left** more than 15-thousand people dead.  
 (B1-6-5)
2. The Chinese President **declared** the Olympic Games open.
3. She **had** her ashes thrown into the sea.
4. Global warming would **make** 80 percent of Japan's beaches disappear 100 years from now. (B1-13-7)

< 解答 >

1. 阪神大震災で1万5千人以上が死んだ
2. 中国の国家主席がオリンピックの開会を宣言した
3. 彼女は自分の遺灰を海中に投じてもらった
4. 地球温暖化は100年後には日本の海浜の80%を消失させるだろう

< ここまでのチェック項目 >

- ☐ 文の主要素は主語、動詞、補語、目的語の4つである。
- ☐ 文型は動詞によって決まる。
- ☐ 完全自動詞は補語、目的語をとらない。 (第1文型)
- ☐ 不完全自動詞は補語をとる。 (第2文型)
- ☐ 完全他動詞は目的語を1つ、あるいは2つとる。 (第3, 4文型)
- ☐ 不完全他動詞は目的語と補語をとる。 (第5文型)
- ☐ 主要素以外の修飾語句 (副詞、句、節など) によって文の内容が詳しく述べられる。

# 練習問題

[A] 次の各文がどの文型かを示し、下線の動詞に注意して日本文にしない。

1. (a) He left his son a lot of money.  
(b) She left Japan for San Francisco.  
(c) Please don't leave the door open.
2. (a) He keeps his health insurance card in the drawer of his desk.  
(b) The suspect kept silent when he was questioned by police.  
(c) She always keeps the kitchen clean.

[B] 次の文を (     ) 内の前置詞を用いて SVO の第3文型に書き換えなさい。

1. The investigator left the police officer a note on the incident. (for)  
(調査官は警察官にその事件に関するメモを残した)
2. The doctor taught some interns the technique of heart transplantation. (to)  
(その医師は研修医たちに心臓移植の技術を教えた)
3. The firm's president illegally paid shareholders dividends. (to)  
(社長は違法に株主に配当を払った)
4. I showed the lawyer new evidence. (to)  
(私は弁護士に新しい証拠を見せた)
5. The travel agent found me a comfortable hotel. (for)  
(その旅行代理店は私に快適なホテルを見つけてくれた)

[C] 次の文の SVOC (文の要素) を示した上で、どの文型かを答えなさい。

1. The DPJ, the largest opposition party at that time, won the general election in August 2009 with an overwhelming victory.  
(当時の最大野党民主党は 2009 年 8 月の総選挙に圧勝した)
2. The employment situation is further worsening due to the prolonged recession.  
(雇用状況は長引く景気後退でさらに悪化している)
3. The purpose of the task force is to screen government projects and cut wasteful spending.  
(その作業部会の目的は、政府の事業を仕分けし、無駄な支出を削減することである)
4. Public distrust in politics brought the ruling LDP a crushing defeat in the general election.  
(国民の政治不信は与党自民党に総選挙での大敗をもたらした)
5. The DPJ found the results of this election favorable for a change of government.  
(民主党は、今回の選挙結果は政権交代への賛成の表れだと思った)

## \* 練習問題 解答 \* \* \* \*

- [A] 1. (a) 第4文型 彼は息子にたくさんお金を残した  
 (b) 第3文型 彼女はサンフランシスコへ向けて東京を発った  
 (c) 第5文型 ドアを開けたままにしないでください
2. (a) 第3文型 彼は健康保険証を机の引出しに入れてある  
 (b) 第2文型 容疑者は警察に尋問されたとき黙っていた  
 (c) 第5文型 彼女はいつも台所をきれいにしておく

[B] 1. The investigator left a note on the incident for the police officer.

\* 「～を残して死ぬ」という意味の場合は前置詞に to を用いる

He left his wife a fortune. → He left a fortune to his wife.

2. The doctor taught the technique of heart transplantation to some interns.  
 3. The firm's president illegally paid dividends to shareholders.  
 4. I showed new evidence to the lawyer.  
 5. The travel agent found a comfortable hotel for me.

[C] 1. The DPJ, the largest opposition party, won the general election in August, 2009 with an overwhelming victory. (第3文型)

2. The employment situation is further worsening due to the prolonged recession. (第1文型)

\* is worsening が動詞である (現在進行形)

3. The purpose of the task force is to screen government projects and to cut wasteful spending. (第2文型)

\* to screen ~spending までの the purpose of the task force の補語である

4. Public distrust in politics brought the ruling LDP a crushing defeat in the general election. (第4文型)

5. The DPJ found the results of this election favorable for a change of government. (第5文型)

# UNIT 5

## Relative Pronouns (関係代名詞)

関係代名詞は、接続詞と代名詞の働きを兼ねるものである  
(see Book0前編-p.84,85, Book1-p.32~39,112~119, Book3-p.166,  
Book4-p.193, Book5-p.32, -p.33)

### セクション I ◆ 主格・所有格・目的格

- 基本文 1** The big earthquake and tsunami **which** hit the eastern part of Japan killed nearly 20 thousand people.  
(東日本を襲った大地震と大津波は 2 万人近くの命を奪った)
- 基本文 2** There are many people **whose** loved ones are still missing.  
(愛する人たちが未だ行方不明の人が大勢いる)
- 基本文 3** The tsunami **which** the earthquake triggered damaged several nuclear reactors in the area.  
(地震が引き起こした津波はその地域の数基の原子炉に損傷を与えた)

#### ■ このセクションで学ぶこと

関係代名詞の(直)前にある(代)名詞を**先行詞 (antecedent)**といい、後に続く関係代名詞節がこの先行詞を説明する。

関係代名詞には主格、所有格、目的格がある。

**主格** …… **基本文 1** の which は the big earthquake and tsunami の代わりをして hit の主語の働きをしている。

**所有格** … **基本文 2** の whose は many people's の代わりをして loved ones にかかる所有格である。

**目的格** … **基本文 3** の which は triggered の目的語である the tsunami を表している。

関係代名詞の形は次の表のように先行詞と格によって決まる。

	先行詞が「人」	先行詞が「事、物、動物」
主格	who / that	which / that
所有格	whose	whose
目的格	whom (who) / that	which / that



### (1) 主格の関係代名詞

2つの文を関係代名詞を使って1つの文とすることができる。

The big earthquake and tsunami killed nearly 20 thousand people.  
(その大地震と大津波は2万人近くの命を奪った)

The big earthquake and tsunami hit the eastern part of Japan.  
(その大地震と大津波は東日本を襲った)

The big earthquake and tsunami killed nearly 20 thousand people.

11

They hit the eastern part of Japan.

↓ 主格 (人以外)

*which*

- ① 共通する語句 **the earthquake and tsunami** が先行詞となる。
- ② これは「人以外」であり、代名詞ならば **they** に置き換えられる。
- ③ この **they** は関係詞節において主語の働きをしているので、主格の関係代名詞 **which** を用いる。

そうすると以下の文となる

The big earthquake and tsunami *which* hit the eastern part of Japan killed nearly 20 thousand people.

先行詞      関係詞節

(東日本を襲った大地震と大津波は2万人近くの命を奪った) 基本文1

先行詞 **the big earthquake and tsunami** は後に続く **which** 以下の「東日本を襲った」という関係詞節によって説明されていて、この関係詞節は形容詞の働きをしている。

主格の用法では原則として **先行詞＋関係代名詞＋動詞～** の語順となる。

A Russian boy who was badly burned came to Sapporo from Sakhalin  
for treatment. (B1-27-1)

(ひどくやけどを負ったロシアの少年が治療のためサハリンから札幌にやってきた)

Apple growers in Aomori were hardest-hit by the powerful typhoon *that* ran through the Japanese archipelago. (B2-5-2)

(青森のりんご生産者は日本列島を縦断した強い台風で最もひどい被害を受けた)

## (2) 所有格の関係代名詞

There are many people.

(たくさんの人がいる)

Many people's loved ones are still missing.

(彼らの愛する人たちは未だ行方不明である)

There are many people.

||

Their loved ones are still missing.

↓ 所有格

*whose*

先行詞は many people で「人」であり、many people's は their に置き換えられる。この their が所有格なので関係代名詞 whose を用いて次の文となる。

There are many people *whose* loved ones are still missing. 基本文 2

(愛する人たちが未だ行方不明の人もたくさんいる)

先行詞 many people は後に続く whose 以下の「彼らの愛する人たちが未だ行方不明の」という関係詞節によって、説明されている。

所有格の用法では原則として 先行詞＋関係代名詞＋名詞～ の語順となる。

People *whose* houses were swept away by the tsunami had to stay at

evacuation centers for a long time.

(津波で家を流された人たちは長い間避難所に滞在しなければならなかった)

People all over the world prayed for disaster victims *whose* difficulties the media reported.

(世界中の人が、その苦難を報道が伝えた被災者のために祈った)

\* whose difficulties は reported の目的語である。(whose difficulties (which) the media reported)

関係代名詞の後に they (it) say(s) / they (it) call(s) などが入ることがあるが、これは内容を断定することを避けるためである。

Japan is seeking for a solution on the abduction issue *which* Pyongyang says is a closed book.

(日本は、北朝鮮政府が既に終わったことだという拉致問題の解決方法を探っている)

「拉致問題が既に終わったこと」という断定は北朝鮮の立場であることを明らかにするために Pyongyang says が挿入されている。

## (3) 目的格の関係代名詞

The tsunami damaged several nuclear reactors in the area.

(津波はその地域の数基の原子炉に損傷を与えた)

The earthquake triggered the tsunami.

(その地震は津波を引き起こした)

The tsunami damaged several nuclear reactors in the area.

||

The earthquake triggered it.

↓ 目的格 (人以外)

**which**

先行詞は the tsunami で「人以外」であり、関係詞節では、it に置き換えられる。it は動詞 triggered の目的語なので、目的格の関係代名詞 which を用いて次の文となる。

The tsunami **which** the earthquake triggered damaged several nuclear reactors in the area.

(その地震が引き起こした津波はその地域の数基の原子炉に損傷を与えた)

先行詞 the tsunami は後に続く which 以下の「その地震が引き起こした」という関係詞節によって説明されている。

目的格の用法では原則として 先行詞＋関係代名詞＋主語＋動詞～ の語順となるが、目的格の関係代名詞はしばしば省略される。

The plane crash was partly caused by incomplete repairs **which** the US company made. (B1-10-3)

(その航空機墜落事故は部分的にはそのアメリカの会社が行った不完全な修理が原因だった)

Some residents **whom** the government ordered to evacuate refused to leave their homes.

(政府が避難するよう命令した住民の中には家を離れることを拒否した人もいた)

\* 先行詞が人の場合の目的格の関係代名詞は whom であるが、口語的表現では who を用いることが多い。

## EXERCISE

日本文に合うように（ ）に関係代名詞を入れよ。

1. The body was found in a shallow river ( ) flows through the village.  
(B1-27-10)

(その遺体は村を流れる浅い川の中で見つかった)

2. The damage ( ) local industries suffered is huge.  
(地元産業が被った損害は莫大だ)

3. The parents ( ) son was killed in the train accident filed a lawsuit  
against the railway company.

(息子が列車事故で亡くなったその両親はその鉄道会社を相手取って訴訟を起こした)

< 解答 >

1. which / that    2. which / that (省略できる)    3. whose

### <ここまでのチェック項目>

- ☐ 関係代名詞は、接続詞と代名詞の働きを兼ねる。
- ☐ 関係代名詞は前にある先行詞を説明、修飾する形容詞の働きをする。
- ☐ 関係代名詞の格には、主格、所有格、目的格の三種類がある。
- ☐ どの関係代名詞を用いるかは先行詞と格によって決まる。
- ☐ 先行詞が関係代名詞節において主語の働きをする場合（主格の場合）、それが「人」であれば関係代名詞 **who** または **that**、「人以外」であれば **which** または **that** が用いられる。
- ☐ 先行詞が関係代名詞節において所有格の働きをする場合、それが「人」でも「人以外」でも関係代名詞 **whose** が用いられる。
- ☐ 先行詞が関係代名詞節において目的語の働きをする場合（目的格の場合）、それが「人」であれば関係代名詞 **whom (who)** または **that**、「人以外」であれば **which** または **that** が用いられる。
- ☐ 主格は原則として「先行詞 + **who/which/that** + 動詞～」の語順になる。
- ☐ 所有格は原則として「先行詞 + **whose** + 名詞～」の語順になる。
- ☐ 目的格は原則として「先行詞 + **whom(who)/which/that** + 主語 + 動詞～」の語順になる。

## セクションⅡ ◆ 制限用法と連続用法

- 基本文 1** Malala Yousafzai, **who** is a human rights activist, won the Nobel Peace Prize at the age of seventeen.  
(マララ・ユスフザイは人権活動家で、17歳でノーベル平和賞を受賞した)
- 基本文 2** Malala, **whose** father ran a local private school, was able to receive an education.  
(マララは、彼女の父が地元で私立学校を経営していたので、教育を受けることができた)
- 基本文 3** She demands that girls also be given an education, **which** many girls in the world are yet to receive.  
(彼女は女子も教育を受けるべきだと主張しているがしかし、世界中の多くの女子がそれを受けられないでいる)

## ■このセクションで学ぶこと

関係代名詞 who, whose, whom, which には**制限用法**（セクションⅠで説明している用法）と**連続用法**がある。

**連続用法（非制限用法）**とは関係代名詞の前にコンマを置き、先行詞や文全体を補足的・追加的に説明、修飾するものである。日本語の読点のように、「そこでちょっと区切る」イメージがある。連続用法には関係代名詞 **that** は用いられない。

連続用法の種類を見てみよう。

**挿入用法** 前後にコンマを置いて先行詞の後ろに挿入される用法。先行詞を補足的・追加的に説明する。**基本文 1**、**基本文 2** がこれに当たる。先行詞が固有名詞 (Malala Yousafzai) の場合は、連続用法の関係代名詞のみ用いられる。

**接続用法** 文の後ろにコンマを置いて付け足していく用法を接続用法と呼び、**基本文 3** がこれにあたる。

次のように、コンマを置くか否かで意味が違う場合がある。

## 1 制限用法

The company has hired two students **who** speak both English and Chinese.

(その会社は英語と中国語の両方を話す 2 人の学生を雇った)

## 2 連続用法

The company has hired two students, **who** speak both English and Chinese

(その会社は 2 人の学生を雇ったが、2 人とも英語と中国語の両方を話す)

- \* 制限用法では、「英語と中国語の両方を話す学生 2 人を雇った」が、他にも雇った学生がいるかもしれない。連続用法では、「雇った学生は 2 人だけで、その 2 人とも英語と中国語の両方を話す」ことになる。

## 1. 制限用法（限定用法ともいう）（関係代名詞 セクションI参照）

日本語をあてはめると「～ところの～」となり、先行詞を限定する。

Some 330 Japanese athletes took part in the Olympics **which** was held in Rio de Janeiro.

（およそ 330 人の日本人選手がリオデジャネイロで開かれた（ところの）オリンピックに参加した）

## 2. 連続用法（非制限用法、継続用法ともいう）

連続用法には、**基本文 1、2**のように先行詞の説明のために文の途中で挿入し、関係代名詞節の前後にコンマを置いて挿入節とする**挿入用法**がある。また、**基本文 3**のように関係代名詞の前にコンマを置き補足説明を導く**接続用法**もある。「接続詞（and, but, because など）＋代名詞」に書き換えることができる。コンマまで訳してから「接続詞（そして、しかし、なぜなら、など）＋代名詞（それは、彼の、それを、など）」を補うとわかりやすい。

連続用法には関係代名詞 **that** は用いられない。

### （1）挿入用法

Malala Yousafzai, **who** is a human rights activist, won the Nobel Peace Prize at the age of seventeen. **基本文 1**

（マララ・ユスフザイは人権活動家で、17 歳でノーベル平和賞を受賞した）

先行詞が固有名詞の場合は連続用法が用いられる。

コンマがある、ということはそこでちょっと区切るイメージがあるので、読む時にはコンマでポーズをとる。また日本語訳においても、制限用法の関係代名詞のように後ろから訳すのではなく、頭から訳す方が英文のニュアンスが伝わりやすい。

The Nobel Prize, **which** Alfred Nobel established in 1895, is regarded as one of the most prestigious awards in the world.

（ノーベル賞は 1895 年にアルフレッド・ノーベルによって創設されたもので、世界で最も名誉ある賞の 1 つとみなされている）（先行詞 the Nobel Prize は established の目的語）

Malala, **whose** father ran a local private school, was able to receive an education. **基本文 2**

（マララは、彼女の父が地元で私立学校を経営していたので、教育を受けることができた）

**基本文 1**と同様に挿入用法。しかし同時に関係代名詞節が主文 Malala was able to receive education の理由を表してもいる。

## (2) 接続用法

She demands that girls also be given an education, **which** many girls in the world are yet to receive. 基本文3

(彼女は女子も教育を受けるべきだと主張しているがしかし、世界中の多くの女子がそれを受けられないでいる)

上の文は、接続詞＋代名詞で表すと次の文になる。

= She demands that girls also be given an education, **but** many girls in the world are yet to receive **it**.

\* it は education

The Nobel Prizes are presented in Stockholm, **which** is the birthplace of the award's founder.

(ノーベル賞はストックホルムで授与されるが、そこは賞の創設者の生誕地である)

= The Nobel Prizes are presented in Stockholm **and it** is the birthplace of the award's founder.

\* 平和賞の授賞式はノルウェーのオスロで行われる。

The Japanese student enjoyed staying with the American host family, **whom** she will never forget.

(その日本人学生はアメリカのホストファミリー宅での滞在を楽しんだ。そして彼女は彼らのことを決して忘れないであろう) (B1-7-5)

= The Japanese student enjoyed staying with the American host family, **and** she will never forget **them**.

\* 目的語である them = the American host family が whom に置き換えられている。

## 〈 主文全体を受ける連続用法 〉

Experts say a big quake will occur in the area in the near future, **which** has made local residents nervous. (B1-27-11)

(専門家は大地震が近い将来その地域で起きると言っている。それが現地の住民たちを神経質にさせている)

この場合、which は主文全体を受けるため、関係代名詞 which = the fact that experts say a big earthquake will occur in the area in the near future (大地震が近い将来その地域で起きると言っている事実) となる。

The bank stopped giving further monetary aid to Mycal Corp., **which** forced the major supermarket chain to declare bankruptcy.

(その銀行はマイカルへの追加的金融援助をやめたが、これによりこの大手スーパーチェーンは破産宣言に追い込まれた)

## EXERCISE

関係代名詞に注意をして日本文に訳せ

1. The Ebola virus causes a serious illness which is often fatal.
2. The lawyer and his family, whom police had been looking for, were found dead in faraway mountains. (B1-7-6)
3. A heavy rain caused massive floods, which destroyed dozens of houses in the city.
4. John Lennon was assassinated, which sent a shockwave across the world.

### < 解答 >

1. エボラウィルスはしばしば命にかかわる深刻な病気を引き起こす。  
(主格・制限用法の関係代名詞なので、後ろから訳す)
2. 弁護士とその家族は、警察がずっと捜していたのだが、遠い山の中で遺体で発見された。  
(所有格・接続用法(挿入用法)。コンマで区切って訳す)
3. 大雨が大規模な洪水を引き起こし、その町の数十件を破壊した。  
(主格・接続用法なので、コンマで区切って訳す)
4. ジョン・レノンが暗殺され、そのことは世界中に衝撃波を与えた。  
(主格・主文全体を受ける関係代名詞)

### < ここまでのチェック項目 >

- ☐ 制限用法は、先行詞を限定する用法である。
- ☐ 連続用法はコンマを置き、先行詞や本文全体を補足的に説明・修飾をする。
- ☐ 連続用法はコンマで区切って前から訳していく。
- ☐ 連続用法には、挿入用法と接続用法がある。
- ☐ 先行詞が固有名詞の場合は、連続用法が用いられる。
- ☐ 連続用法には関係代名詞 **that** は用いられない。



## セクションⅢ ◆ 関係代名詞 that・関係代名詞 what・前置詞+関係代名詞

- 基本文1 One of the most horrible terrorist attacks **that** occurred in France left 130 people dead.  
(フランスで起きた最も恐ろしいテロ攻撃の1つで130人が死亡した)
- 基本文2 **What** happened in Paris on the night was immediately reported across the world.  
(その夜パリで起きたことは直ちに世界中に伝えられた)
- 基本文3 Some of the terrorists wore explosive belts, **with which** they detonated themselves.  
(テロリストの何人かは自爆ベルトを身につけており、それで自爆した)

## ■このセクションで学ぶこと

- 関係代名詞 **that** 基本文1のように、最上級など先行詞に限定的な形容詞がついている場合は **that** を用いることが多い。
- 関係代名詞 **what** 基本文2の関係代名詞の **what** は the thing(s) which と言い換えられ、先行詞は the thing(s) なので、**what happened in Paris on the night** は「その夜パリで起きたこと」という意味になる。
- 前置詞+関係代名詞 基本文3は they detonated themselves with explosive belts (彼らは自爆ベルトで自爆した) という意味である。with を文尾に残すこともでき、~ explosive belts they detonated themselves with. となる。

## 1. 関係代名詞の that がよく用いられる場合

### (1) 先行詞の名詞に、限定的な形容詞がつく場合

最上級の形容詞, the only, the first, the last, the same, the very, all, any, every, no, などが先行詞につく場合 that が用いられることが多い。

One of the most horrible terrorist attacks **that** occurred in France left 130 people dead and hundreds wounded.

(フランスで起きた最も恐ろしいテロ攻撃の1つで130人が死亡し数百人が負傷した) 基本文1

This was the greatest earthquake **that** hit Tokyo in 63 years. (B1-7-15)

(これは63年間に東京を襲った中で最大の地震であった)

The final is the best game **that** I have ever watched.

(決勝戦は私がこれまでに観戦した中で最高の試合だった)

He is the only person **that** the police failed to arrest for the drug trafficking.

(彼はその麻薬密売で警察が逮捕できなかった唯一の人物である)

This was all **that** the bereaved family could do.

(これがその遺族ができるすべてのことだった)

### (2) 先行詞が「人+動物、人+事物」の場合

先行詞が a man and a cat, the driver and the car などの場合関係代名詞 that が用いられることが多い。

Rescue workers succeeded in saving a man and his dog **that** were trapped under the debris.

(救助隊員たちはがれきの下敷きになった男性と彼の犬を助けることに成功した)

He wrote an article on the people and their culture **that** he had seen in other countries.

(彼は他国で見た人々やその文化についての記事を書いた)

\* that は制限用法のみ用いられる。

## 2. 先行詞を含む関係代名詞 what

what = the thing(s) + which / that 「～するところのもの、こと」

**What** happened in Paris on the night was immediately reported across the world.

(その夜パリで起きたことは直ちに世界中に伝えられた) 基本文2

関係代名詞 what には「もの」「こと」という先行詞が含まれる。そのため、基本文2は things (もの、こと) を使って以下のように書き換えることができる。

= **The things which** happened in Paris on the night were immediately reported across the world.

Voters must be really aware of **what** is going on in political circles. (B1-7-16)

(有権者は政界で起きていることに本当に気づかねばならない)

= Voters must be really aware of **the thing which** is going on in political circles.

**What** really matters is the contents of the new plan.

(本当に重要なのはその新しい計画の中身である)

= **The thing that** really matters is the contents of the new plan.

## 〈 発展 1 〉 what を含む慣用表現

The opposition parties denounced the Prime Minister's policy speech before Parliament for (**what they called**) lack of concrete proposals. (B2-10-8)

(野党各党は、首相の国会での所信表明演説が(彼らが言うところの) 具体的な提案に欠けているとして非難した)

\* 慣用表現をカッコで囲み訳すとわかりやすい。

( **What is called** ) the "Mogura Machine" was used to dig the Euro Tunnel across the English Channel. (B1-7-17)

( (いわゆる) モグラマシーンと呼ばれる (ところの) ものがイギリス海峡を横切るユーロトンネルを掘るために用いられた )

## 〈 発展 2 〉 関係形容詞

what + 名詞 ~ = all + that 名詞 ~ 「～するところの全てのもの、こと」

The defector from North Korea told the South Korean government **what information** (= **all the information that**) he had.

(北朝鮮からの脱北者は持っている全ての情報を韓国政府に伝えた)

### 3. 前置詞＋関係代名詞

関係代名詞「whom / which」が前置詞の目的語になる場合は、前置詞＋関係代名詞を用いる。

#### (1) 制限用法の「前置詞＋関係代名詞」

The gold medalist in the Paralympics is the pride of the swimming club **to which** she belongs. (B1-8-3)

(そのパラリンピックの金メダリストは、彼女が所属する(ところの)スイミングクラブの誇りである)

上記の文は

[ The gold medalist in the Paralympics is the pride of the swimming club.  
She **belongs to** the swimming club. ]

という2つの文を関係代名詞を用いて1つの文にしている。

関係詞節の動詞 **belong** は前置詞 **to** を伴って「～に所属する」という意味になるので、**to** は常に必要である。そこで上記の文のように関係代名詞の前に **to** を置いて、「前置詞＋関係代名詞」とする。(文語的)

また次のように前置詞を文尾に置く形(口語的)もある。

The gold medalist in the Paralympics is the pride of the swimming club **which** she belongs **to**.

- \* 関係代名詞 **that** を用いる場合は「前置詞＋**that**」とは**ならず**、前置詞 **to** は必ず文尾に置かれる。

× The gold medalist in the Paralympics is the pride of the swimming club **to that** she belongs.

- \* 「前置詞＋関係代名詞」の形では関係代名詞を省略することはできない。

× The gold medalist in the Paralympics is the pride of the swimming club **to** she belongs.

- \* 関係代名詞を省略する場合は前置詞は文尾に置く。

The gold medalist in the Paralympics is the pride of the swimming club she belongs **to**.

Children were fond of taking the passenger jet **on which** a picture of whales was drawn. (B1-28-5)

(子供たちはクジラの絵が描かれている旅客機に乗るのが好きだった)

上記の文は

[ Children were fond of taking the passenger jet.  
A picture of whales was drawn **on** the passenger jet. ]

という2つの文を関係代名詞を用いて1つの文に合わせたものなので、**on which** が適切となる。

または、前置詞 on を文尾につけた形で、次のようになる。

Children were fond of taking the passenger jet **which** a picture of whales was drawn **on**.

または、この which は目的格であるから省略できるので、次のようにもなる。

Children were fond of taking the passenger jet a picture of whales was drawn **on**.

## (2) 連続用法の「前置詞＋関係代名詞」

基本文3にあるような連続用法の場合も前置詞のつけ方は同様であるが、連続用法では関係代名詞は省略できない。

Some of the terrorists wore explosive belts, **with which** they detonated themselves.

(何人かのテロリストは自爆ベルトを身につけており、それで自爆した) 基本文3

They detonated themselves **with** explosive belts. となるので、前置詞 with を伴う。

または、次のように前置詞を文尾につける。

Some of the terrorists wore explosive belts, **which** they detonated themselves **with**.

## 4. 不定代名詞・数詞 + of + 目的格の関係代名詞

all of / most of / some of / many of /  
much of / (a) few of / one of / half of + whom (who) / which

Galileo's theory was based on scientific facts, **some of which** he himself discovered. (B1-28-18)

(ガリレオの理論は科学的事実に基づいていたが、そのうちのいくつかは彼自身が発見したものだっ)

which の先行詞は scientific facts である。

Galileo's theory was based on scientific facts.

He himself discovered **some of** the scientific facts.

上記の文はこの2つの文を関係代名詞を用いて1つの文にしたものである。of (前置詞) の後ろなので、目的格の関係代名詞を使う。

An overnight tour bus accident killed 15 people, **most of whom** were university students.

(夜行ツアーバスの事故で15人が死亡したが、そのほとんどが大学生だった)

whom の先行詞は 15 people

The company recruited sixty new graduates, nearly **half of whom** are bilingual.

(その会社は60名の新卒を採用したが、そのうち半数近くは二ヶ国語に堪能である)

## 5. 疑似関係代名詞

接続詞の *as* や *than* を関係代名詞のように使うことがあり、これを疑似関係代名詞と呼ぶ。

### (1) *as* が相関語句 と共に用いられる場合

*such A as B* 「B するような A」、*as A as B* 「B するのと同じくらいの A」、*the same A as B* 「B するのと同じ A」がある。

He explained the rule in *such* easy Japanese *as* was understood by everyone including international students.

(彼は留学生を含むすべての人に理解されるような簡単な日本語でその規則を説明した)

The company lost *as* much money *as* it had invested due to a drastic fall of its stock prices.

(その会社は自社株の暴落により、投資したのと同じくらいの金額を失った)

### (2) *as* が単独で用いられる場合

*as* は連続用法の *which* のように、先行する文や節の全体、もしくは一部を先行詞として受けることができる。一方、*which* と違って主節の前に置かれたり、文中に挿入されることもある。

He is very popular in his constituency, *as* is evident from the votes he garnered in the election.

(彼は選挙区で大変人気があり、それは彼が選挙で集めた得票数からも明らかである)

*As* might have been expected, she decided to run for the president in 2016.

(予測されていたように、彼女は 2016 年の大統領選への立候補を決めた)

#### ◆ 関係代名詞 *as* の慣用語法

*as is often the case (with / for) ~* 「(~には) よくあることだが」

She didn't show up on time, *as is often the case with* her.

(彼女は時間通りに現れなかったが、これは彼女にはよくあることだ)

Before the death of the influential politician, who was in intensive care, certain TV stations prematurely aired his obituary which they had prepared in advance *as is often the case for* aged ailing celebrities. (B4-1068)

(集中治療を受けていた有力政治家の死亡の前に、一部のテレビ局は、老齢で病氣中の有名人の場合によくあることだが、前もって準備していた死亡記事を、早まって流してしまった)

### (3) 疑似関係代名詞 *than*

関係代名詞としての *than* は、先行詞が比較級の形容詞に修飾されている場合に用いられる。

The computer has more functions *than* are needed.

(そのコンピューターは必要以上の機能がついている)

## EXERCISE

下線部の日本語に合うように ( ) の英語を並べ替えよ。

1. Many people thought that (the president's / mouth / came out of / that / every word ) was a lie.  
(多くの人が、大統領の口から出てくるすべての言葉は嘘だ、と思った)
2. The movie shows (the / Army / what / really / did / Japanese ) in Asian countries during the war. (B1-7-20)  
(その映画は日本軍が戦争中にアジア諸国で本当に行なったことを示している)
3. Many women from the Philippines are working at pubs, (of / came / Japan / to / most / whom) on entertainment visa.  
(多くのフィリピン女性がパブで働いている。そして彼女たちのほとんどが興行ビザで日本に来た)

< 解答 >

1. every word that came out of the president's mouth
2. what the Japanese Army really did
3. most of whom came to Japan

<ここまでのチェック項目>

- ☐ 先行詞の名詞に限定的な形容詞 (the only, the first など) や最上級がつく制限用法では、関係代名詞 **that** がよく用いられる。
- ☐ 関係代名詞 **what** は先行詞 **the thing(s)** を含んでいる。
- ☐ **as** や **than** が関係代名詞のように使われることもある。

# 練習問題

[A] 次の2文を関係代名詞を用いて1つの文に下さい。

1. The girl says she likes the American actor.  
(その少女はそのアメリカ人の俳優が好きだと言っている)  
He played a leading role in the film.  
(彼はその映画で主演を演じた)
2. The French pianist performed a Japanese anime theme song.  
(そのフランス人のピアニストは、ある日本のアニメソングを演奏した)  
It was very popular all over the world.  
(その曲は世界中でとても人気があった)
3. The female college students visited Turkey.  
(その女子大生たちはトルコを訪れた)  
Its tourist spots were said to be safe and popular in Japan.  
(そこの観光地は治安が良いと言われていて、日本でも人気があった)
4. Their parents use two languages with the children.  
(その子供たちの親は子供たちに2か国語を使う)  
The children will no doubt speak the two languages.  
(その子供たちは疑いなくその2か国語を話すようになる)
5. The Imperial Couple visited the tiny island of Pelelieu.  
(天皇后両陛下は、ペリリュー島という小さな島を訪問された)  
Ten thousand Japanese soldiers died in the battle on the island.  
(その島で1万人の日本兵が戦死した)

[B] 日本文に合うようにa~dから( )に入る適語を選びなさい。

1. It is our common goal to build a country ( ) freedom and human rights are respected. (B1-28-2)  
(自由と人権が尊重される国を築くことが私たちの共通の目的である)  
a) which    b) that    c) in which    d) on which
2. We must not forget that all ( ) glitters is not gold.    glitter = 輝き、光るもの  
(光るものが皆金とは限らないということを忘れてはならない)  
a) who    b) what    c) whose    d) that
3. There are few places for parking in this town, ( ) is a serious problem these days.  
(この町には駐車する場所がほとんどなく、それが最近では深刻な問題になっている)  
a) who    b) which    c) that    d) what
4. We met a group of hikers this morning, ( ) were high school students.  
(私たちは今朝ハイキングの一行に会ったが、その中の何人かは高校生だった)  
a) some of who    b) some of which    c) some of whom    d) some of that



[C] 次の下線部の日本文に合うように関係代名詞を使って英文に直しなさい。

- この川で溺れかけている子供を助けた老人と彼の犬のニュースを聞きましたか  
Did you hear the news about an old man and his dog \_\_\_\_\_ ?  
 溺れかけている = drowning
- 小説家であることの良い点の 1 つは、必要なことはすべて頭の中にあることだ  
 One of the nice things about being a novelist is that all you need is \_\_\_\_\_.
- ボブにはよくあることだが、その会議に遅れて上司に叱責された  
 \_\_\_\_\_, he was reprimanded by his boss for his lateness to the meeting.

\* 練習問題 解答 \* \* \* \*

- [A] 1. The girl says she likes the American actor **who** played a leading role in the film. (先行詞 the American actor)
2. The French pianist performed a Japanese anime theme song **which** was popular all over the world. (先行詞 a Japanese anime theme song)
3. The female college students visited Turkey, **whose** tourist spots were said to be safe and popular in Japan. (先行詞 Turkey)
4. The children **with whom** their parents use two languages will no doubt speak the two languages. (先行詞 The children)
5. The Imperial Couple visited the tiny island of Pelelieu, **on which** ten thousand Japanese soldiers died in the battle. (先行詞 the tiny island of Pelelieu,)

\* island の前置詞は on を用いる。

- [B] 1. c in which                      a country が先行詞で in a country の意味
2. d that                              先行詞が all あるいは all で修飾されている時は that を用いることが多い
3. b which                            主文全体を受ける連続用法
4. c some of whom                  some of a group of hikers という意味

- [C] 1. **that** saved a drowning child  
 先行詞が人と動物なので関係代名詞は that を用いることが多い。
2. **what** you have in your head  
 what = the thing(s) which
3. **As** is often the case with Bob,  
 関係代名詞 as の慣用語法  
 As is often the case with ~ 「～にはよくあることだが」

## あとがき

ニュースを素材にした茅ヶ崎方式英語の学習者からよく同じような質問を受ける。「said の後の that 節がどうして will なの？時制の一致をとらないの？」「リスニングテストの文では第一パラグラフは、どうして現在完了形なの？日本語では「～した」なのに」。これらの質問にきちんと応える文法書を作ってみようと思った。13 年前、火星が地球に最接近して、夜空に赤々と輝く火星を見て興奮した年だった。

試行錯誤しながら構想を練った。全体像も固まり用例を少しずつ作成していた頃、クラスゼロの教材作成や、Book 5、国際英語基本 4,000 語の編集に追われるようになった。再度、文法書の作成に力を入れ始めた時、赤い火星が巡り巡って再び地球に最接近するというニュースが流れた。茅ヶ崎方式英語会設立 35 周年の佳節を迎える今年、2016 年に、ようやく本書を世に送り出すことができた。

アウトプットつまりコミュニケーションの中でも、きちんと話す時や文章を書く時に、「ことばのルール」である文法が必要になってくる。これからますます「英語を書く能力」が求められる時にあって、ことばのルールを身に付けることは必須である。この文法書は、茅ヶ崎方式英語教本の Book-0 ～ 4 を演繹的にとらえながら、文法上の様々な疑問に応えると共に、文法事項を体系的に述べているので、茅ヶ崎方式英語で学習する方々や一般の英語学習者にも役立つものと思う。

最後に、この文法書作成にあたって長い間ご指導とご支援を下さった、関東学院大学教授の林裕先生、茅ヶ崎方式英語会創設者の松山薫先生と、茅ヶ崎校代表の矢内良一先生に心よりの感謝を申し上げます。そして出版をお引き受け下さった茅ヶ崎方式英語会代表の大美賀廣芳さん、その他文法書作成に携わって下さった方々に心より御礼を申し上げます。



2016年10月

著者代表 西澤 瞳